



# empublic Studio レポートⅢ

2023年11月～2024年10月

<https://empublic-studio.jp/>

2023年10月にempublic Studioは3周年を迎えました。これもひとえに、ご参加いただいているメンバーのみなさまのご協力、ご支援があってこそとスタッフ一同、深く感謝しております。本当にありがとうございます。

少し発行が遅くなってしまいましたが、1年間の動きをふりかえったレポートをお送りします。ご自身のふりかえりに、empublic Studioの全体的な動きの理解にご活用ください。

この1年間は、メンバーの発案で始まった対話ひろば「孤独・孤立を考えるひろば」「大人のソーシャルスキル」が定期的に開催されました。どちらも、その時々に参加したメンバーの多様な経験や視点を持ち寄って対話することで話が深まり、どんどんと新しい問いも生まれたことで、数回で終わる予定が10回以上のシリーズました。Studioのダイナミズムを感じる時間となりました。2シリーズはいったん中休みとなりましたが、メンバーの方の問題意識から始まる対話は、これからも展開していきたいと考えています。関心あるテーマ、対話してみたいことなど、ぜひお寄せください。

また、メンバーの方が自分のことを伝える機会を増やしたいというスタッフの思いから、「キャッチフレーズをつくろう」が始まり、「My Storying」も再開しました。アウトプットする中で改めて自分のことを発見できると好評です。まだまとまっていないとお感じの方こそ、ご活用ください！

24年のテーマとして「市民社会のバリューチェーン」を掲げてきました。地域や社会には様々な活動がありますが、横のつながりは弱いと言われます。その時、「つながる」ことを目的としても、つながりは生まれにくいものです。それぞれの強みを活かして役割を担い、それが有機的につながって付加価値を生み出すというバリューチェーンの考え方が不可欠だということを改めて提示しました。この対話と「贈与論」の議論を通して、社会にポジティブな変化を生み出すつながり、プラットフォームに求められることが見えてきました。この考えを基に来年から、empublic Studioをパワーアップするべく準備を進めています。

そして、5月からはスタッフによる「気になるニュース」も始まり、ラジオ「empublicの一語一歩」も60回を超えました。忙しく、時間が合わない方も、ポッドキャストを通して聞いていただき、今の社会の動きや改めて日常や仕事を考える視点のヒントとしてご活用いただけたらと考えています。

アーカイブ動画、やりとりをより効果的にご活用いただけるようツールの見直しも行っていきます。使いやすいツールを準備したいと考えております。社会の変化は激しく、不安定さも高まっています。だからこそ、人が共に考え、共創する「場」の重要性は高まっています。ぜひご自身の問題意識、実現したいこともお伝えください。そして、empublic Studioをぜひ一緒につくっていきましょう！これからも引き続き、よろしくお願い申し上げます。

2024年11月30日

エンパブリック代表 広石拓司

## 目次

	page
<b>【スタジオを使って自分のことを言葉にしよう】</b>	
・ 自分のキャッチフレーズをつくろう！	2
・ My Storyingにトライしませんか？	2
<b>【学びと共創のプログラム】</b>	
1. 市民社会のバリューチェーンを考える	3
2. 「贈与論」を考える	4
3. 探究心を考える	4
4. 気候変動への参画の拡大を考える	5
5. スキルアップ講座	5
<b>【メンバー発案のプログラム】</b>	
・ メンバー発案の対話	5
・ 孤独・孤立を考えるひろば	6
・ 大人のソーシャルラーニング	6
<b>【Studio定期開催プログラム】</b>	
・ Studioワールドカフェ	7
・ マンスリーふりかえり会	8
・ ちょこっとアンラーニング エンパブTOPICS	8
・ Now 気になるニュース	9
<b>【Studioラジオ】</b>	
・ empublicの一語一歩	10
・ メンバーの方がラジオをスタートしました！	10
・ 一語一歩エピソード一覧	11
<b>【お勧めアーカイブ動画のご紹介】</b>	12

4年目の empublic Studioも、みなさんと一緒に創っていきたくて考えています。引き続き、よろしくお祈いします！

ワークショップ+アーカイブ動画、ワークシートも利用可能！  
ますます充実していきます

### empublic Studioメンバー参加登録 募集中

年会費4,840円(税込)で、コンテンツ利用、セッション参加、講座やゼミへの割引参加ができます。  
参加登録はこちらから <https://empublic-studio.jp/entry>

1年経過した方は更新をお願いします。

カード決済の方は自動更新となります。  
年会費の期限が近づくとメールでご連絡します。  
迷惑メールに入る場合があります。ご確認ください。

お問合せは、[info@empublic-studio.jp](mailto:info@empublic-studio.jp) まで

empublic Studio レポートⅢ 2023年11月～2024年11月

発行日：2024年12月15日 発行：株式会社エンパブリック  
編集：広石拓司、渡邊さや、中村絵美

# スタジオを使って、改めて自分自身のことを言葉にしてみませんか？

## 自分を表現する「キャッチフレーズ」を考えてみよう！

2024年から新しいメンバー特典として「自分のキャッチフレーズをつくろう！」が始まりました。スタッフ中村のインタビューを通して、自分の経験を棚卸しをした上で、自分の「思い」や「強み」を表現する「私のキャッチフレーズ」を一緒に作ります♪



ご参加いただいた方からは「これまでの経験の棚卸になった！」「改めて自分の得意なことに気づいた」「意外なところがつながっていたんだ」といった声をいただいています。スタジオに参加したら、まず、一緒にキャッチフレーズ作りましょう♪ もちろん以前からのメンバーの方も歓迎です！

### 利用するワークシートはこちら

「パーソナルブランディング」を活用することで、これまでの経験や得意な事から、先の未来につながる「こんな仕事をしたい！」「こんな働き方がしたい！」という自分のイメージが明確になります！

ワークショップ/「次の私」へのパーソナルブランディング 株式会社エンパブリック empablic

これまでの自分	今の自分	これからの自分
これまで得てきた経験・好きや得意なこと	今やっていること、スキルや強み	やってみたいこと・目指したい姿

私は.....です。

.....

が必要な時には、ぜひ私にお声掛けください！

### 《studioメンバーの皆さんのキャッチフレーズ》



## あなたの「My storying」を話してみませんか？

「My storying」は、Studioメンバーが自分のこれまでをふりかえって作成した自分のストーリーを話すと共に、これからに向けて、他の皆さんと一緒に考えたいことを問いかける場です。

Studioメンバーのこれまでの経験を聞きながら、その人らしい「問い」を共に考える会となっています。思いや考えていることが近く、前向きに受けとめてくれるStudioメンバーの方のいる場があるからこそ、自分自身の経験やトライしてきたことを自分の言葉で話すことができます。

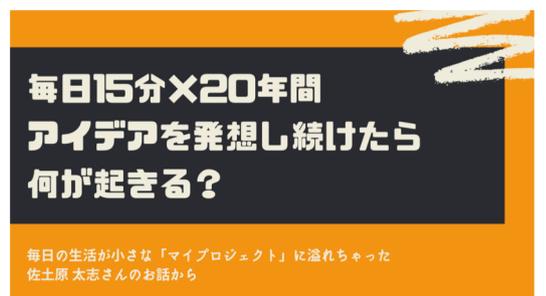
My Storyingの場を、自分のこれまでを整理し、これからに向けた考えをまとめる機会として、トライしてみませんか？

今年は3人の方のMy storyingを開催しました。

この秋からエンパブリックに参画した二宮雄岳さんは、釜石市の復興支援員として、地域の想いを引き出し、住民の力を活かす復興を目指して活動してきました。取り組んできたまちづくり、地域への思い、コーディネーターの役割をお話しました。

前田也詠子（まえこ）さんは、大学時代に体験した対話で自分の考え方に変化が起こったことに衝撃をきっかけに、今は福岡で自分自身の興味分野であるアート×対話のプログラムを企画・運営しています。今回は、自分自身の経験を踏まえて、対話を通して「自分の変容」を楽しめる人の増やし方について一緒に考える場を開催します。

佐土原太志さんは、宮崎県都城市のまちづくり会社で働いてながら、かれこれ20年続けているアイデア発想法「アイデア・マラソン」を続けています。その中で、アイデアに限らず、暮らしの中での小さな楽しみやゲーム性を発見するようになったこととお話いただきました。



## 1. 市民社会のバリューチェーンを考える

「市民社会のバリューチェーン」は、empublicが創業時に掲げていたコンセプトです。この考え方は、地域の課題が深刻化し、多様な担い手の協働が必要になっている2024年だからこそ求められているのではないかと考え、改めて「市民社会のバリューチェーン」を掲げた思いを伝え、今の時代にどう展開できるか、探究する場を開催しました。

バリューチェーンは、1980年代にマイケル・E・ポーター教授が提唱した「価値創造のフレームワーク」です。企業の個々の活動は「コスト」なのに、会社として「利益」を生み出せるのは、個々の活動がバラバラにあるのではなく、価値を生み出すよう組み合わせさせて行われている＝価値（バリュー）を生むつながり（チェーン）があるからだ提唱しました。この考え方を地域に応用し、地域の中で課題解決に取り組む多様な人たちがバラバラに動くのではなく、地域全体での価値が最大化するように役割分担や協働をデザインするのが「市民社会のバリューチェーン」です。

今回のプログラムでの対話を通して、地域内の多様な主体が効果的に協働できるプラットフォームの必要性を改めて考えました。ただ、つながるだけでなく、お互いの特徴を活かしあって新しい価値を生み出せる機能を組み込んだ場づくり。これからのエンパブリックの目指すものを具体化することができました。

市民社会のバリューチェーンの例

人と資源の発掘、活用支援	商品、サービスの開発	ネットワーク構築	マーケティング、活用促進	参加者のサポート、場づくり	持続可能な地域への価値創造 参加・協働の拡充
ファンドレイズ、関係者拡大					
調査・研究、テクノロジー導入・開発支援					
人材開発、働きやすい環境づくり					
ビジョンデザイン、バックボーン活動、地域金融					

多様な人々や活動が有機的につながり、持続可能な地域を実現していくには？  
～「市民社会のバリューチェーン」の視点から地域の未来を考えてみよう

まちづくり、DX、SDGs、気候アクションへの主体的な参加者を増やすために

一人ひとりが「私は変革のキープレイヤー」と思える地域・組織をつくるには？

Studioワールドカフェ 24年6月

「私なんても…」と諦めていた人が、笑顔で、地域にも役立つことを自ら始める！

地域に眠る“人の可能性”から自分らしい仕事・活動をどんどん生み出す場づくりとは？

いっしょにいと、何かが起きている。

そんな場は、どうデザインできるのだろう？

福岡のコミュニティデザイナー ドネルモのみなさんと考えよう！

### 2024/05/01

社会問題が深刻化し、地域で課題解決に取り組んだとしても、「地域が変わる」までの成果を出すのは難しい。それは「市民社会のバリューチェーン」という視点が欠けているのではないかと、この考え方から、地域の多様な主体が協働し、地域全体の価値を効果的に高めるには何が必要なのでしょう？バリューチェーンの地域での展開について、マイケル・ポーターの考え方も参照しながら、参加者との対話を通して考えました。

### 2024/06/12

私たちの仕事や暮らし、地域も急速に変化しており、気候変動やデジタル化などの課題も避けられない状況……。しかし、多くの人が変化に受け身になりがちで、自らを「変革のキープレイヤー」は意識しづらい状況です。これを変えるためには、個人の意識に働きかけるだけでなく、変革を促す環境やシステムが必要です。持続可能な未来のために、一人ひとりが変革の担い手となる方法を、対話を通して考えました。ここから社会・変化に向き合うには、探究する好奇心・学ぶ力が大切ではないかと考え、次頁の「探究心」のプログラムにつながりました。

### 2024/08/02

山形県鶴岡市の「鶴岡ナリワイプロジェクト」を進めてきた井東敬子さんをゲストに、「街に眠る人の力」を活かした仕事や活動がどんどん生まれるプラットフォームの実践について考えました。ナリワイプロジェクトでは、ごく普通の地域の人が自分の役割を自覚し、好きなことを活かして地域の困り事を解決する事業を立ち上げる仕組みをつくってきました。また、「好きや得意」に注目し、新たな地域活動を創出している宮崎県三股町の「三股町コミュニティデザインラボ」についても紹介し、地域に必要な機能は何かを考えました。

### 2024/08/27

「ドネルモ」は、福岡を拠点に地域づくりや医療、福祉、アート、教育など多様な分野で人と人をつなぎ、新しいプロジェクトを生み出している団体です。第二創業期にエンパブリックとの共同活動を通じてノウハウを蓄積し、現在では多くの実績を持っています。ドネルモが目指すのは「いっしょにいと、何かが起きている」「しくみを変えようとするとき、自分もまた変わっていく」など、個人とつながりの相互作用の場です。ドネルモが大切にしていることは何か、実践を通して活動が生まれる場には何が大切と考えているのか、メンバーの方と話しました。

## 2. 贈与論を考える

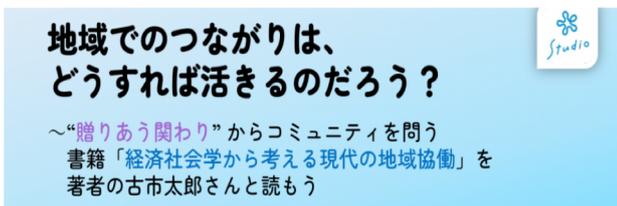
資本主義の課題が拡大する中で、近年改めて注目を集めているのが「贈与」の考え方です。金銭を使う取引ではない「贈与」のあり方を考えることを通して、人のつながりや関係性を別の次元から捉え直す議論が広がっているのです。empublic Studioではマルセル・モースの「贈与論」を専門とする社会哲学者の古市太郎さんと贈与と、その考え方を地域に展開する方法を考えました。

大きなヒントになったのは「贈り物は特定の人と人との間でのみ成立する」ということです。プレゼントには「その人からもらった」という記名性があり、単なるモノでなく、場面や関係性、思いなどの文脈も合わせた“コト”なのです。私たちは一般化やモデル化を考えがちですが、実際には「その人がいるから」という良い意味での属人性がある。それをコトとして積極的に評価することは、大切な発想の転換でしょう。



2024/04/11

現代社会では、私たちは物やサービスをお金で購入し、価値をお金で判断することが一般的ですが、贈り物にはその価値を超えた「気持ち」が込められています。贈与は、金銭万能主義を超えた新しい社会の在り方を考えるきっかけとなるかもしれません。モースの「贈与論」に注目が集まる中、贈与が持つ人間関係やコミュニティ形成の力を現代社会でどう生かせるのかを、社会哲学者の古市太郎さんと共に考えてみました。



2024/04/24

かつて住民同士で行っていた「お祝い事」「葬儀」なども、行政や企業に委ねられ、住民がサービスの利用者となる「外部化」が進んでいます。これにより、地域問題への無関心や助け合いの意欲低下が起こり、地域コミュニティの弱体化を招く結果に……。社会哲学者の古市太郎さんは、モースや他の学者の考察をもとに、「贈与」を軸にした地域問題の解決策を提案し、地域活動での実践でも活かしています。古市太郎さんと、地域コミュニティにおける関係性と贈与との関係を考えました。

## 3. 探究心を考える

変化に向き合い、積極的に未来をつくる人が増えるには何が必要なのか？その一つの鍵が「探究心」です。知っていること・経験からの正しさを重視すると、既存の構造・枠組みに縛られます。新しい状況を創るには自分で探究する心が欠かせません。どのような探究が求められるのか、佐藤真久さんをゲストに迎え、共に探究しました。

佐藤さんは、探究は手法論と考えられがちだが、探究の本質は、学びを「about : ○について知る」→「for : ○に役立つことを知る」→「in : ○と自分の関わりを考える」に止まらず、「As : 自分自身もあり方を新しくする」ことも含まれる。そのためには、自分で探究したいテーマ(=内発的動機)を見つける時間・機会が大切だと指摘します。自ら意味を見つけることが未知に向き合う力になるのです。



2024/07/11

大きな変化の時代を生き、新しい未知の状況へと踏み出すには、「探究心」が不可欠です。日々の仕事や生活の中で自分の「問い」を持って探究しているビジネスパーソンは、問題の根本原因を考え、新たな視点から課題を分析し、革新的なアイデアを生み出すことができます。このプログラムでは、佐藤真久さんと今の時代に大人にも求められる探究とは何か、「私の問い」を見つけ、動き出すには何が大切かを考えました。



2024/08/08

複雑な問題に対処し、新しい価値を生み出すには、分野や専門を超えた探究チームが必要です。異なる背景や専門知識を持つメンバーが協力するには、「私たちの問い」を見つけ、それを共に探究することが求められます。その問いを考える時に、課題ばかりに注目してしまうと、既存の枠組みに縛られてしまいます。そこで鍵となるが課題だけでなく、対象の魅力や潜在的な可能性を見つけようとするプロセスです。そのように多面的に見るからこそ、新しいアイデアや変化の芽が生まれます。だからこそチームが大切であり、共に探究する時間が大切だと考えていきました。

## 4. 気候変動への参画の拡大を考える

empublicでは活動する人と周りの人との関係づくりに取り組んできましたが、その視点から今の社会で重要なテーマは「気候変動」です。多くの人々が気候が変化していることに気付いていて大切な問題だと思っていますが、気候変動対策となると急に遠くのことを感じてしまいます。2030年までの実効的なアクションが必要な中、活動を広げる関係づくりが大きな課題となっています。

活動する人は、環境・社会問題に参加していない人を「意識が低い」と考えがちです。ただ、それは相手の立場に立つと「自分はダメだと扱われている」と感じてしまいます。活動する人は動いていない人の気持ちに関心を寄せること、また自分の答を押し付ける感じにならないように、なぜ必要か、何ができるかを一緒に探究することが大切になります。参加者を増やすことは緊急の社会課題でしょう。



**気候変動**に対して  
地域・組織に**何が**できるか、見つける  
**探究**の進め方  
佐藤真久 × 広石拓司

複雑な問題に向き合い、  
チャレンジするための  
探究プロセスとは？

2024/07/24

気候変動は環境や経済、社会に広範な影響を及ぼし、持続可能な未来に向けた戦略的対策が急務です。しかし、重要性を理解していても「何をすべきか」が分からず、行動に移せない状況が多くみられます。そこで重要となるのが「探究」。専門家の一方向的呼びかけではなく、問題を理解し、関わる人々と問いを共有することが必要でしょう。気候変動への効果的な対応を生み出すためのプロセスや探究の方法について解説し、内発的動機を高めるにはどうしたらいいかを参加者と一緒に考えました。



なぜ気候変動への取り組みへの  
賛同者を増やすのは難しく、  
反対・反発も生んでしまうのか？

「正しいこと」が溝や分断を起こしやすい時代に  
環境・社会活動を進めるためのコミュニケーションと  
リーダーシップを考えよう

2024/11/21

気候変動の問題の重要性は認識され、対策が動き始めているにも関わらず、地域で、組織内で気候変動対策へのアクションに賛同を集めることは依然として難しい状況が続いています。気候変動対策には科学的な理解に加えて、経済社会の変化への理解が必要であることに加えて、価値観、経済的利益、文化的背景、政治的信念などが絡み合い、現状維持を揺るがすものとして不安を抱く層も存在します。そのため、科学的な事実が歪曲されて広がったり、大きすぎる問題への無力感につながったりすることで、対策への懐疑的な考え方も広がっています。単に「正しいこと」を伝えるだけでなく、相手の心理や関係性などにも配慮したアクションが必要なことを社会学、行動経済学なども交えて解説をしています。

## 5. スキルアップ講座



**参加型の学びの場の作り方**  
ワークショップ、参加型の講座・研修をデザインする技法

2024/04/20

一方通行になりがちなセミナーなどの講義形式ではなく、参加者同士の対話や学び合いを通じて変化を生み出すワークショップのプログラム設計について体験的に学べる講座です。ワークショップ・デザイン・シートを使って実際にプログラムを作る中で、ワークショップの基本的な考え方をはじめ、ワークショップ体験や企画、またプログラム設計から準備までの一連を通して、「参加型」とはどのようなことなのか？どのように参加を引き出すのか？について学びました。

## Studioメンバー発案の対話



**遺体と向き合う  
現場から見たこと**  
～孤独死が他人事になってしまうのはなぜか～

2023/12/19

Studioメンバーのヤマガタさんが、日々のお仕事で感じていることをメンバーの方と対話したいという思いから始まった企画です。

仕事の中で孤独死の現場を目にすることが多く、「なぜこんなに孤独死が近くにある社会なのに、みんな自分ごととして関心を持ってないんだろう」と考えていたという背景から、日本の孤独死の状況を踏まえて、「なぜ孤独死が自分の問題と思えないのか？」「孤独死を防ぐには何が必要なのか？」を改めて考えました。

## Studioメンバー発案の対話のひろば

Studioメンバーの思いから場を立ち上げることは、スタジオで行っていききたいことの重要な部分です。みなさんも行いたいテーマを、ぜひお寄せください！

### 孤独・孤立を考えるひろば



テーマ一覧 全17回 2023年2月～24年8月

- 2月 孤独と依存～依存症の特効薬は「こんにちは」だった
- 3月 孤独×居場所～居場所とは何だろう？
- 4月 作戦会議：今、孤独の何について話したい？

#### シリーズ「マズローの欲求5段階説から考える孤独」

- 5月 孤独と怒り（諦め）
- 6月 孤独と家族（職場・学校）
- 7月 孤独と居場所～なぜ居場所がそんなに注目される？

- 8月 作戦会議2：ふりかえりと次回以降のテーマ決め

#### シリーズ「つながりから孤独を考える」

- 9月 なぜご近所づきあいなど地縁コミュニティに入りづらいの？～つながりのダークサイド(毒)から孤独・孤立を考えよう
- 10月 つながりとサバイバル～心理的・身体的・金銭的に生き抜くためのつながりは？
- 11月 繋がりや希望～失望から希望に変わったときは？

依存症を経験したワタナベさんの「社会問題としての孤独・孤立について、他の方はどのように考えているのか知りたい」という思いからスタートしました。その思いに共感し、様々な立場、場面で「孤独」の問題を考えていたスタジオ・メンバーが集まり、月1回の対話を行っています。

「孤独」には多面性があること、それぞれの立場・視点での経験を尊重し合うこと、孤独を感じる人の気持ちに寄り添おうとすること、様々な状況、視点を持ち寄ることなどを大切に、問題を丁寧に話し合う場とすることを心掛けて運営しています。

当初、3回で話そうと始まった会は、参加者の方の経験や思いを持ち寄ることで、話すほど新しいテーマが見つかり、全部で17回となりました。会はいったんお休みになりましたが、孤独・孤立は今の社会問題の基盤にあるものであり、引き続き考えていききたいと思います。

#### 主宰者 ワタナベさんがふりかえってみて

気が付けば17回開催し、対話を通して、多様な視点、アイデアが毎回出てくることは、対話という「場」に自分が思っていること、考えを出すことの意味があるんだと感じています。孤独・孤立というテーマを月に1回深める機会があったということは、自らのマイルストーンとなり、自分自身も学びが多い時間となりました。

#### 2024年

1月 ふりかえり×企画会議

#### シリーズ「家族から孤独を考える」

- 2月 食を通してみるつながりとは？家族とは？
- 3月 これまでの家族、これからの家族とは？
- 5月 「新しいちゃぶ台とは？」共同体に必要なこと
- 6月 「新しいちゃぶ台とは？②」家族は何を共にすべきなのか？  
共同体に必要な機能的役割から考える
- 7月 心を育む家族の視点から

8月 【特別編】孤独と占い～福祉のライバルは占いだ！

コミュニケーションや感情、関係との向き合い方をスキルとして習得する「ソーシャルスキル」を、私たちの日常でどう実践するか。メンバーが集まり、一緒に考える「大人のためのソーシャルスキル」を考える会を全10回で開催してきました。

#### 主宰者 田中咲子さんがふりかえってみて

「大人のソーシャルスキルを考える」をやりたいと思ったきっかけは、「人が他人とつながり、理解しあい、協力するためには対話が必要だが、効果的に対話が行われている場が少ないと感じる。それはなぜだろうか？」「もしかして、“対話をする”以前に、何か足りていないものがあるのではないか？」と感じたことです。この話を広石さんにした所、人と人が関係性を築くときに「ソーシャルスキル」というものがあり、「子どものソーシャルスキル」という書籍があると紹介され、購入して読んでみたところ「これって大人でもできている人は少ないのでは？」と純粋に疑問に思い、その考えをスタジオ内メンバーや広石さんに再度話しをしたところ、じゃあ、みんなで「大人のソーシャルスキル」って何か考えてみよう！と話が形になっていきました。

「子どものソーシャルスキル」には、「ソーシャルスキルとはそれぞれの想いや考えを伝え合う技術です」と書かれていました。皆さんとの対話を深めていく中で、個々が自分なりのスキルを持ち寄り、発表することで、大人のソーシャルスキルってこんな形になるのかな？というのも見えてきました。

一人では考えられなかったことも、メンバーの皆さんとの対話やempublicスタッフの方々とお話することで考えを深めることができました。ふとした疑問や「これってなぜ？」と思うことがありましたら、思い切って口に出してみる、話してみることで、とても有意義な時間を得ることができるかと思っています。来年度はStudioメンバーの方の新しいプログラムに参加できることを楽しみにしています。



#### 2023年

- 11月 新しい場に参加する時、参加を受けられる時のソーシャルスキルとは？
- 12月 忘年会に必要な飲み会スキルとは？  
-昭和に置いて行きたいスキル/令和にもっていききたい飲み会のスキルとは？

#### 2024年

- 1月 上手な断り方とは？
- 3月 信じて見守るとは？寄り添うとは？  
～共感を扱うスキルを考えよう
- 4月 誰かの助けになりたい時に、使えるスキルは？
- 5月 自分の中で起きていることを、どう表現するか？
- 6月 ふりかえり会～これまでのソーシャルスキルシリーズのふりかえり+情報をどう発信していく？
- 7月 自分にとって最も役立つ他の人の知恵・アドバイスは？
- 8月 若い時に人間関係が困難な状況になったとき、どう乗り切ったか？
- 9月 ネット・SNS上の悪い情報にひっかからず、うまく使うには？

# Studio 定期開催プログラム



毎月第1水曜20:30～22:00開催

<https://empublic-studio.jp/12310>

Studioメンバーが自分の現場で見つけた問い、前月のStudioのプログラムで「もう少し話したいね」と話題になったテーマを持ち寄り、ワールドカフェ形式で対話する場を開催しています。

ワールドカフェは、少人数グループに分かれ、メンバー交替しながら話していく対話の型です。ですので、多くのメンバーと出会い、話す機会にもなっています。Studioメンバーは、様々な分野で活動されている中で対話や協働に関心のある人が集まっているため、お互いの声を聴き、たとえ異なる意見でも受け止めてくれる人ばかりです。ですから初めての方でも安心して参加いただけます。

テーマについてよく知らない方も歓迎！他の人の意見もヒントに考えることができますし、一つの結論を出す、いい成果を生み出すことよりも多様な視点で意見を出し合い、多様な見方に気付く、違いから奥のあるものを考える場です。テーマ初心者も素朴な疑問が話の突破口になることも多くありますし、日頃考えていないテーマを考るきっかけになったという声もいただいています。

## こんな風にご活用ください！

- 新しいテーマ、新しい人との出会いを通して自分の視野を広げたい時
- Studioの色々なメンバーに出会ってみたい
- 普段の仕事や生活とは違う脳を使いたい
- 他の人と話して、リフレッシュしたい！
- 多様な人と対話の場づくりのヒントにしたい
- ワールドカフェの手法に関心あり、自分も体験してみたい

カフェ型トークをしよう  
～ワールドカフェによる交流の場の企画・運営セット 販売中！ [紙版](#) [PDF](#)



対話の問い一覧 2022年11月～2023年10月 新しい順	
24年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分が所属している組織（会社、グループ、団体など規模はなんでも）のビジョンやミッションはありますか？～組織にビジョン・ミッションって必要なの？</li> <li>• 異常な暑さの夏なのに、気候変動問題が自分ごとにならないのはなぜ？</li> </ul>
9月	<p>「一語一步」一周年企画 <b>今の時代に市民に必要なことは？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 多様性のパラドックス(多様性を認めないという意見にも寛容的にならないといけないう矛盾)をどう解消すれば良いのか？</li> <li>• 自分の当たり前以外の当たり前があるということにどう気づけばいいか？どう向き合えばいいか？</li> <li>• 一人ひとりがしたいことを大切にしたら時、隙間で取りこぼす課題が出た時に、誰が、どのように対応していけばいいの？</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「10年後、あなたは何をしたい？」(鈴木さん)</li> <li>• 「自分たちの活動や団体を広めるために苦労していることや困っていることは？」～お金や現実的かどうかではなく、純粹にやってみたくことって？(田中さん)</li> <li>• 「コンセプトを共有して、仲間として一緒にプロジェクトを進めるのに大切なことは？」</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 対話の中でお互いの考えがシュワシュワと化学反応を起こすには？(by 佐土原さん)</li> <li>• アクションにつながるようなワークショップとは？(by 谷村さん)</li> <li>• “主体性”が生まれるプロセスって？</li> </ul>
6月	Special版「一人ひとりが「私は変革のキープレイヤー」と思える地域・組織をつくるには？」
5月	Special版「多様な人々や活動が有機的につながり、持続可能な地域を実現していくには？」
4月	Special版「贈り物」はどのようにして特別なんだろう？「贈与論」から考える」
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今、お金について知りたい・話したいことは？</li> <li>• なぜお金について話すのが難しいと思うのだろう？</li> <li>• 今、小中学生に学んでほしい「お金」の知識や扱うスキルは？</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたにとって日常と非日常の違いは？</li> <li>• 「日常から話し合っておこう」の話し合いってなんだろう？</li> <li>• 新しい取り組みやチャレンジは、いつから普通になるのか？</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ニュースや社会の状況を見ていて「考えてみたい」「他の人はどう思ってるんだろう？」と思ったことは？</li> <li>• 今、日常生活や仕事の中で気になっていることは？</li> </ul>
23年12月	<p>スタジオ望年会特別編「寛容さ、余裕のない社会って何だろう？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自助・公助は当てにできず「自助」が必要という社会の気分って何？</li> <li>• ジャニーズ問題など、間違いによって全体が叩かれる雰囲気は何でだろう？</li> <li>• 救急車がコンビニに寄ると叩かれるのは何でだろう？</li> </ul>
11月	<p>ラジオ『Find the Question』一周年記念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたにとってのラジオの思い出は？</li> <li>• 普段の会話の普通の話の面白さをどうやって見つける？</li> <li>• あなたが自分らしくいられるときってどんな時ですか？</li> </ul>

# マンスリーふりかえり会



ちょっと立ち止まり、**自分の1か月をふりかえる時間**を持ちませんか？

毎月最終木曜 20:30～

毎日、様々な仕事や活動に追われていると「あれ？あつという間にもう時間が過ぎてる！」「何かやってたはずだけど、私最近何してたんだらう…」とふと思う瞬間はありませんか？

「マンスリーふりかえり会」は、**毎日忙しないこの1ヶ月をふりかえり、「今月はこれが良かった！」「来月はもっとここを意識して過ごしたい！」**ことを言葉にする時間です。

あつという間に1か月が過ぎた！今、時間も余裕もない！という方こそ、月1回90分、改めて自分を考える時間をとってみませんか？

## 〈参加者の方からの声〉

- ・ 毎月やると区切りがついて整理がついてくる
- ・ 忙しくて出るのやめようかなーと思いつつ出てみたら、自分のことを話す中で色々整理ができた。
- ・ 取り組んでいる事柄が違って共通している思いがすごくあるなと思うので、ほかの人のふりかえりを聴けることはすごく参考になった！
- ・ マンスリーふりかえりに毎月出ていると、どんどんふりかえりがたまって「自分も結構やってるじゃん♪」と思える

毎月最終木曜20:30～22:00開催

empubicで進めている“ふりかえり”

## 「場」としてふりかえる意味



empubicでは“ふりかえり”を、良し悪しや課題解決を指摘が中心になりがちな「反省会」ではなく、一度、立ち止まって何が起きたのかを確認し、この期間に自分自身が感じたこと、気づいたことを言葉にする機会としています。それを一人でなく、他の人と一緒に行うことで、自分のことを言葉にすることを促すと共に、他の人からのフィードバックをもらえる、また他の人との共感や新しい視点を得ることで新しい意味を見つけ出せる時間と考えています。

マンスリーふりかえり会では、自分自身でこの期間をふりかえった上で、話したいことをペアで話します。安心できる場で自分のことを口に出すこと、他の人の共感やシェアを通して自分への理解を深める機会にもつながっています。

1. この1ヶ月の「良かったこと・新しい発見」を5つ & 「残された課題」を5つあげる
2. 「良かったこと・新しく発見したこと」をペアで話す
3. 相手の話を聞いて自分が学んだこと、感じたことを全体のチャットへ！
4. 残された課題について、再度同じペアで話す
5. 残された課題について、次にやってみよう！と思ったことを宣言！

～毎週水曜日12:15～12:45開催／

## ちょっとアンラーニング 今週のエンパブTOPIC



2023.5.24

毎週水曜日12:15～12:45開催（～24年4月）

毎週1回30分ランチ時間の使って、今スタジオで取り上げられている話題を紹介したり、日々の仕事や活動の中で知りたい・やってみたくてと思ったテーマをちょっと学びほぐす時間です。

※5月から「エンパブリックの今考えたいニュース」に移行しました

## 【2023年11月～2024年3月】

- ・ グラレコ自主練回「多様な人の参加を促す”ファシリテーター”って？」
- ・ シートを使って考える「多様な人たちに活動へ参加してもらうには？～スタジオ図書館編～」
- ・ ミニワークショップ「私たちの身の回りにあるマイノリティ・マジョリティを考えてみよう！」
- ・ 対話型鑑賞体験会「人の多様性を感じる対話を体験してみよう！」
- ・ 動画のみよう回「どうして“孤独死”は他人事になってしまうのか？」
- ・ 動画のみよう回「住民一人ひとりの可能性を最大限発揮できるまち」
- ・ 動画のみよう回「それって技術なんだ！？～関係性や感情を扱うソーシャルスキルって？～」
- ・ 今年の自分を元気づける！自分おみくじを作ろう！
- ・ ラジオ視聴回「『不安な時って？』の描き方って？」
- ・ グラレコ自主練回「ファシリテーションのコツ」
- ・ 根津 de ランチ～将来、どこで子育てしたい？～
- ・ 動画のみよう！“慣れ”とどう向き合うか？
- ・ グラレコ自主練回「場を守り立てるとは？」
- ・ 春のセルフ・ブランディングキャンペーン！



<https://empublic-studio.jp/12590>



<https://open.spotify.com/show/1FgRPA3iR5bPZlY23MAsoj>



<https://www.youtube.com/@EmpublicStudio>



### ピックアップニュース一覧 (一部抜粋) 【2024年 (5月17日～10月30日)】

#### ■ このニュース、みんなはどう思う？

- ・高齢者数過去最多から考える『働き方』のこと
- ・投票までの準備どうしてる？
- ・社会課題解決のために『寄付』をするって？
- ・暇が怖い？「デジタルデトックス」ってなんで必要？

#### ■ 最近の社会の変化・こんな課題知ってた？

- ・東大生の休学者増加は日本社会の変化の兆し
- ・なんで「空き家問題」ってずっと解決しないの
- ・「声の権利」からルールのある方を考えてみた！
- ・清潔な仮設トイレから考える『人権』って？
- ・人口減少時代における「信用金庫」の役割って？

#### ■ 社会におきてる新しい動きをピックアップ！

- ・フリーランス介護士のマッチングサービスって？
- ・エレベーター内広告に力を入れるってどういうこと？
- ・世界有数の漁場に異変、カニ100億匹が死滅？！
- ・田舎暮らしを体験する「保育園留学」って？
- ・"DX"を使った新商品開発に大切なことって？

#### ■ はじめて聞いた言葉からピックアップ！

- ・「ソーシャルスーパー」って知ってる？
- ・サステナブルより「リジェネラティブ」？
- ・「合理的配慮」って誰のため？
- ・物流の『2024年問題』をどう考える？

#### ■ 今までの「当たり前」を改めて見直してみた！

- ・当たり前がない時代の『結婚式』って？
- ・『騙される人が悪い』の限界がきている
- ・子どもが海での楽しさを学ぶ意味って？

etc....

こんな思いで始めました！



自分の生活と社会で起きてることの  
接点を作りたい！

ニュースを普段見ていないと、なんとなく自分の生活と遠いものに思えてしまいませんか？  
自分が暮らしてる社会の中で起きてる変化や出来事を知るきっかけにしたいです。

「これってなんでだろう？」を  
一歩踏み込んで考えたい！

普段ニュースを見ながら、もやっとしても  
わざわざ話したりしないけれど、この機会  
に、自分がちょっと気になる社会の出来事を  
一歩踏み込んで考えてみたいですよ！



### 皆さんの気になるニュース (再生回数ランキング)

1位：  
当たり前がない時代の『結婚式』って？  
一周回った"地産地消"の可能性って？

2位：  
社会課題解決のために『寄付』をするって？  
高齢者数過去最多から考える『働き方』のこと

3位：  
東大生の休学者増加は日本社会の変化の兆し  
"DX"を使って新商品開発に大切なことって？

取り上げたニュースはnoteでも紹介中！

noteでは、ラジオで取り上げたニュースの紹介や、  
話してみて気づいたことなどを簡単に紹介しています！

通勤・通学時間におすすめです！  
ぜひ一緒に、気になるニュースを考えてみませんか？



普段意識せずとも使っている言葉や、最近よく聞くようになった言葉を毎回1つ取り上げ、その言葉から見える今の社会で起きていること、これからの暮らしや仕事に活かせることを解説しています。

各回20分程度の一般公開の音声番組です。

### Q. 「一語一歩」とは？

時代が変わる時は“新しい言葉”も生まれますが“これまで使っていた言葉”の意味も変化していきます。今起きている経済社会の大きく変化を身近に感じ、考え始め、次の“一歩”を踏み出すきっかけとして、毎回一つの言葉（一語）を取り上げたいと考えたのです。

### Q. お勧めポイントは？

長谷川奈月さんの軽快な語り口の質問やリアクションで、新しいコンセプトの話も楽しく聴けると思っています。ぜひ楽しんで聴いてください！

## SpotifyまたはApple Podcastで 毎週木曜16時に新エピソードを配信

エピソードはアーカイブされているので、気になるテーマをいつでも聴くことができます。

エピソード一覧は次頁に掲載しています。

二人に聞いてみたい事や、ラジオを聞いてのご感想などの、お便りもおまちしています。

お便りは右のフォームから投稿してください→



2024/09/04

ネットラジオ「empublicの一語一歩」が8月に一周年を迎え、感謝の気持ちを込めて、ファンミーティングとおしゃべり会（ワールドカフェ）を開催しました。これまでのエピソードをふりかえり、ラジオの運営について、リスナーからの質問を交えながらトークをしました。

パーソナリティの長谷川奈月さんが一年をふりかえって感じたのが、「今の変化や多様化する社会では、一人ひとりが社会や他者に向き合うことが大切。それがイマドキの市民力なのかな」ということでした。そこで、後半はオンライン・ワールドカフェで「イマドキの市民力って？」をキーワードに、情報があふれ、価値観も多様化し、変化も激しい今の時代を前向きに生きていくには何が必要なのかについて対話をしました。

←一周年記念のイベントの様子は、一語一歩の番組の特別編として配信しています。

## スタジオメンバーのラジオが始まりました！

### タノシニアンラジオ

Studioメンバーの伴 克子さんと入江眞知子さんが、活動している「タノシニアン」をベースに、シニア世代がこれまで積み重ねてきた経験や知恵を次の世代へつなぐ番組をスタートしました。タノシニアンとは、彩り豊かな人生を送るシニアたちを指す言葉。そんな彼らの「失敗」や「しくじり」は大切な人生の宝物です。ゲストの方がこれまでの人生の中で立ち止まり、つまずき、そして歩き出した瞬間の物語をお聞きます。ただの成功談ではなく、その先にある「伝えたいこと」や「心に残った学び」を一緒に探していきます。



#### <ラジオを始めた感想>

**伴 克子さん**：シニア世代の豊かな経験や知恵、失敗やしくじりも含めて大切な宝物です。そんなお話を次の世代へ繋いでいく。そんなラジオになったらいいなあ〜と思って始めました。お話を聞く中で人生の中に失敗というのはなくて、どれもこれも素敵なお話です。ゲストさん探しがなかなか難しいのと、どうやってみなさんに聞いて頂けるのかもこれからの課題ですが、やってみるとは間違ったことなので、これからも2人でえっちらおっちら頑張ります。

**入江眞知子さん**：ラジオのゲストの方と打ち合わせしていて気づいたことがいっぱいでした。お話を聞きながら私たちが質問するとその方もそう言えばそんなことがあったとか今思うとそれがきっかけだったかもとか・・・ひとつ事柄も色々な人の見方が新しい気づきに繋がるのだと思いました。生きてるラジオ！素敵なゲストの方とお話から生きるヒントが確かにいっぱいだと感じています。

### サクサクトーク☆ラジオすなっく@イオン新浦安

メンバーのあやさんが地元のイオン店内で、地元の方などのトークを楽しむ店内ラジオを開催しています。現代は自分から情報を取りにいかないといけない時代。買い物に来ている人に、ちょっと外の世界の言葉を耳に入れてもらえたらという思いで開催されています。

### なぜラジオ型コンテンツなのか？

empublicが今、ラジオ型コンテンツにトライしているのは、**改めて新しいコミュニケーションのカタチを探りたい**ということがあります。既存の放送局とコミュニティメディアは、同じようなコンテンツを提供していても、目的やゴールは大きく違うことに気付きました。既存の放送局は「出し手一聞き手（マス）」という構造が前提にある。しかし、一緒の街に暮らす人が出し手になることで、直接的に知り合わなくても「あの人のことを知っている」という状況が地域の中に生まれ、それが直接間接のつながりを生み、そこから地域の一員である感覚や地域のおもしろさへの期待にもつながる。それがコミュニティ感を育てるのです。

そこから、**コンテンツ提供を主目的とするのではなく、コミュニティ醸成を主目的としたラジオの可能性**を感じました。コミュニティメンバーの共有の基盤、出番づくりなど多様な可能性がラジオ型コンテンツにはあります。ぜひラジオ型コンテンツを、ご自身のコミュニティでも始めませんか？

#### アーカイブ音声

ラジオ型コミュニケーションの可能性を考えよう (23年6月) [link](#)



3人が話すなんてエンパブはラジオをやっているの (23年10月) [link](#)





各回20分程度のエピソードです。  
気になる言葉があれば、作業や家事、  
運転中に聴いてみてください。  
グループの認識共有にもご活用下さい。

【1周年記念 印象に残るエピソード投票(24年8月) Best3】

- 1位: 千と千尋～“自分の名前をわすれない”で働くって?
- 2位: スーパーウーマン症候群～仕事も子育ても完璧!じゃなくいいよね
- 3位: フィルターバブル、ウェルビーイング、NPO、贈与

- #1 「聴く」～「聞く」と「聴く」の違いは?
- #2 「学ぶ」～ 知ることよりわからないことが大切?
- #3 「大人の学び」～ 無理に勉強せず、楽しく学ぼう!
- #4 「ケアする」～ お世話、保護とケアはどう違う?
- #5 「合意形成」～ 考えの違う人とも合意できるの?
- #6 「ESG」～ これからのビジネスに希望はある?
- #7 「コミュニティ」～ イマドキの“つながっている関係”って?
- #8 「遊び」～ 大人にも「遊び」は必要?
- #9 「アンコンシャスバイアス」～ 知らず知らずのうちに決めてしまっていない?
- #10 「キャリア」～ “成功のため失敗しない”から”よりよい自分へ、更新し続ける”へ
- #11 「ライフシフト」～ 経験の蓄積(無形資産)が人生100年時代を生きる力に
- #12 「ふりかえり」～ 反省するだけの会にしないポイントは?
- #13 「ワークショップ」～ どうしてまちづくりやビジネスにワークショップは広がったの?
- #14 「アップサイクル」～ かわいい!ほしい!がサステナブルを進める
- #15 「受援力」～ 「助けたい」と「助けて」がポジティブに響きあうには?
- #16 「推し」～ 私とのシンクロが生み出す応援エネルギーの可能性
- #17 「マンガ」～ キャラクターへの共感から寛容さは広がる?
- #18 「デザイン」～ どうしてコミュニティデザインなど“〇〇デザイン”が増えているの?
- #19 「ボランティア」～ 役立ちたい、助けたいから生まれるボランティアの価値は?
- #20 「パーパス」～ 何のためにあるのか、関わる人全員で分かち合うには?
- #21 「フレームワーク」～ 先人の経験知を活かして課題解決力を高めよう
- #22 「リフレーミング」～ 新しい視点から捉え直し、ポジティブな変化を生むには?
- #23 「ビジョン」～ どうなるといいかイメージできると、何したらいいかも見えてくる
- #24 「不安と向き合う」～ 不安な自分を大切にしながら、付き合い方を知ることで大切な時にエネルギーを使えるように
- #25 「スーパーウーマン症候群」～ 仕事も子育ても女性としても完璧に!…じゃなくて、いいよね
- #26 「組織文化」～ 文化は行動の蓄積で生まれ、行動の積み重ねで変えていける
- #27 「アウトカム」～ 目的にあう成果を生み出せるような活動や講座を行うには?
- #28 「エンパシー(共感)」～ 違う状況・立場の人の気持ちを理解するには?
- #29 「バックキャストिंग」～ 実現したい未来への意志を持つには??
- #30 「プロジェクト」～ “そのうち”と思うことを実行するためのプロジェクト化!
- #31 「セルフブランディング」～ したい仕事を引き寄せるには?
- #32 「イベント」～ 非日常の力を活かして毎日をちょっと豊かに
- #33 「欲望」～ 「満たされない」の連鎖に陥らないためには?

- #34 「ペルソナ」～ 勇気をもって対象者を具体像に絞ることで見えてくることは?
  - #35 「予防」～ リスクをわかっても後回しにしがち。どうしたらいい?
  - #36 「自立」～ 誰にも頼らず自力で行うことが自立なの?
  - #37 「リスクリテラシー」～ 次のステップへ進むために必要なスキルを学ぶには?
  - #38 「心理的安全性」～ 本音で話し合えるチーム、関係性って?
  - #39 「アンラーニング」～ 知識を自分のものとし、新しいステップを踏み出す
  - #40 「贈与」～ 心を込めた贈り物は、お金が全てでないと思いきかせてくれる
  - #41 「ストーリーテリング」～ 物語の主人公への共感がビジネスや社会を動かす?
  - #42 「NPO」～ 人々の声や思い、お金を託される存在となるには?
  - #43 「ウェルビーイング」～ 身体と心とつながりが幸せを生む!
  - #44 「エンゲージメント」～ 選び、選ばれる関係をどうつくっていく?
  - #45 「Chat-GPT」～ 生成AIとうまく付き合うって?
  - #46 「スポーツ」～ 「スポーツでまちづくり」に必要なことは?
  - #47 「ポリコレ(ポリティカルコレクトネス)」～ “適切さにもほどがある”を乗り越えるには?
  - #48 「ローカルベンチャー」～ 地域での起業の今の社会での意味・可能性は?
  - #49 「アジャイル」～ 綿密な計画より、ちょっとずつできることから
  - #50 「千と千尋」～ “自分の名前をわすれない”で働くって?
  - #51 「気候正義」～ 気候変動を困難さを強いられる“人”の問題としてとらえると?
  - #52 「自己効力感」～ “やれば、できる!社会・環境のことも”と思えるようになるには?
  - #53 「フィルターバブル」～ 自分の都合よい情報に流されないようにするには?
  - #54 「おせっかい」～ “迷惑”と“ありがたい”の分かれ目は?
  - #55 「コンパッション(Compassion)」～ 共に困難さに向き合うとは?
- 【特別編】一周年記念イベントより～一語一歩制作裏話!
- #56 「健康(ウェルネス)」～ 健康づくりは全部自己責任でいいの?
  - #57 「多様性のストレス」～ 違いから感じるストレスを無視しない
  - #58 「ネガティブケイパビリティ」～ 正解のない時代を生きるために必要なことって?
  - #59 「谷根千」～ 暮らしのリアリティから生まれる地域ブランドって?
  - #60 「好きなまちで仕事を創る」～ 顔の見える関係を大切に仕事をするって?
  - #61 「仕事観」～ 多様化し、変化する仕事に自分はどう向き合う?
  - #62 「やりがい」～ 行動と気持ちと関係性のいいバランスとは?
  - #63 「プラットフォーム」～ 「したいこと」が集まり、新しい価値が生まれる場とは?
  - #64 「パラダイム」～ 何か良いもの前提が変わる時代を生きるには?
  - #65 「組織開発」～ 人材育成だけでは、なぜ変化を起こせないのだろう?
  - #66 「パートナーシップ」～ 一方向でなく、持ち寄る関係とは?

## おすすめアーカイブ動画の紹介

スタジオメンバー限定公開の学びの動画コンテンツも多数更新しています。活動・仕事が行き詰まった時のヒントに！

エンパブリックスタジオでは、リアルタイムに参加する対話の場だけではなく、「アーカイブ動画」の学びのコンテンツを配信しています。  
なかなか忙しくてイベントに参加することが難しい時、「今これについての基礎知識がほしい！」という時は、ぜひご活用ください！

アーカイブ動画ページ↓



\* ホームページにログインしてご覧いただけます。  
ログイン方法、ID、PWがわからない方は、[info@empublic-studio.jp](mailto:info@empublic-studio.jp) までお気軽にお問い合わせください。



地域活動支援を行ってきた秋元が書籍「専門家主導から住民主体へ」を読み込み、現場でどう実践できるか、著者の広石さんも交えて考える動画シリーズを作成

《配信タイトル》

○シーズン3（第3章を読む）

#14 コレクティブインパクトからの  
ヒントと六郷助け合い  
プラットフォーム

#15 私たちは話し合うことに  
慣れていない!?  
～場の準備と進め方

#16 住民主体の話し合い続ける  
場づくり

#17 第3章ふりかえり回

○シーズン4（第4章を読む）

#18 専門家主導の住民主体は可能??

#19 主体的な活動を育む  
学習プログラム

#20 自主活動を促す心構え

～狛江市の2年間から学ぶこと

#21 第4章ふりかえり回



コーディネーターって、どんなことをしているのでしょうか？単なる調整役ではないとしたら、何が大切なのでしょう？

日頃、「コーディネーター」という役職を担っている人も、そうでない人も、「コーディネーターとは？」について改めて考えてみませんか？

《配信タイトル》

・コーディネーターって調整役？

・コーディネーター入門

～社会や地域に変化を起こすとは？そこでのコーディネーターの役割は？

・スタッフ対話 コーディネーターって？



地域活動支援を行ってきた秋元が書籍「専門家主導から住民主体へ」を読み込み、現場でどう実践できるか、著者の広石さんも交えて考える動画シリーズを作成

《配信タイトル》

1. ワークショップって何？

2（前編）. ワークショップに必要な条件とは？

2（後編）. 参加者が主体になる場の作り方とは？

<番外編> スタッフで語る「ワークショップって何？」



このシリーズでは、ファシリテーターは、なぜ必要で、どの様な役割を担うのか。どのような進め方、技法があるのか。対話を促すとは何か、ファシリテーションの基本的な考え方について解説しています。

《配信タイトル》

1. 場を守り立てる

2. ファシリテーターとは

\*12ふりかえり

3. ファシリテーターの基にあるもの

4. ファシリテーターにとっての”聴く”

5. 場づくりとは

\*345ふりかえり

6. ファシリテーターの役割

7. ファシリテーションのコツ

8. ホワイトボード模造紙を活用する

9. ファシリテーションを学ぶために

\*6789ふりかえり



# おすすめアーカイブ動画の紹介

## より良い問いかけを行うには？

empublic



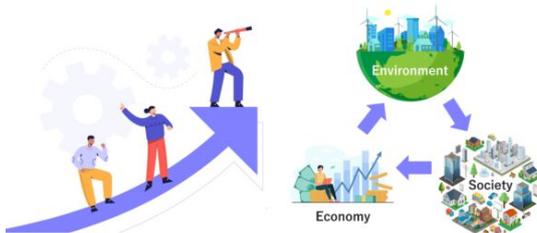
エンパブリック代表の広石が慶応義塾大学SFCの授業「コミュニティ・インベストメント」の中で、学生の意見も踏まえて問いかけについて考えているコンテンツをご紹介します。

質問は自分の知りたいことを知るために行うもの。しかし、「問いかけ」は、問う×かける。声かけ、気かけ、働きかけなど他者との関わりが大きなポイントになってきます。社会や組織の課題を相手と共に考えたい時、対話のファシリテーションにおいて、どのような問いかけを行うことが大切なのでしょうか？

## SDGsの促すサステナビリティ・シフト

— 2020年代に起きる変化を考える視点 —

2020年10月 エンパブリック・シティラボ東京の共催イベント「サステナブルまちづくり概論」より、広石の講演を紹介しています。



SDGsは単に社会に良いことをするキャンペーンではありません。

持続することはできないという考え方、現在の問題を起こした20世紀型から、貧困を終わらせ、地球環境を守ることができる「誰一人取り残されない」世界へと経済社会のカたちを変える (transform) するための、2030年に向けてのゴールです。では、2020年代に経済社会、ビジネス、まちづくりに、どのような変化が起きると考えられるのでしょうか？



社会問題の解決と事業性の相乗効果を生み出す「ソーシャルビジネス」とは何か？ どのような考え方をし、どのように構築していくといいのか？ 基本的な考え方を解説しています。



序：なぜソーシャルビジネスなのか？

1. ソーシャルビジネスの基本的な考え方
2. ソーシャルビジネスの問題解決のアプローチ
3. ソーシャルビジネスの事業性を高める



この動画シリーズでは、書籍「共に考える講座の作り方」を使って、自分の経験を分かち合うことでみんなの学びに変えていくためにどんな風に取り組むと良いかを解説しています。

自分が経験から学んだことを分かち合う  
自分の講座 (プレゼン) をつくろう



1. イントロダクション
  2. 目的とテーマを決めよう
  3. 自分の経験のまとめ方
  4. 経験を伝えるプレゼンの構成を考える
  5. 30分の講演 (プレゼン) を作成しよう
- ※ワークで利用するワークシートをPDFで利用できます。